

# 平成20年度決算報告

# 市の財政状況

## 一般会計

一般会計は、福祉や都市基盤の整備、教育など、市の一般的な事業に使われる経費です。

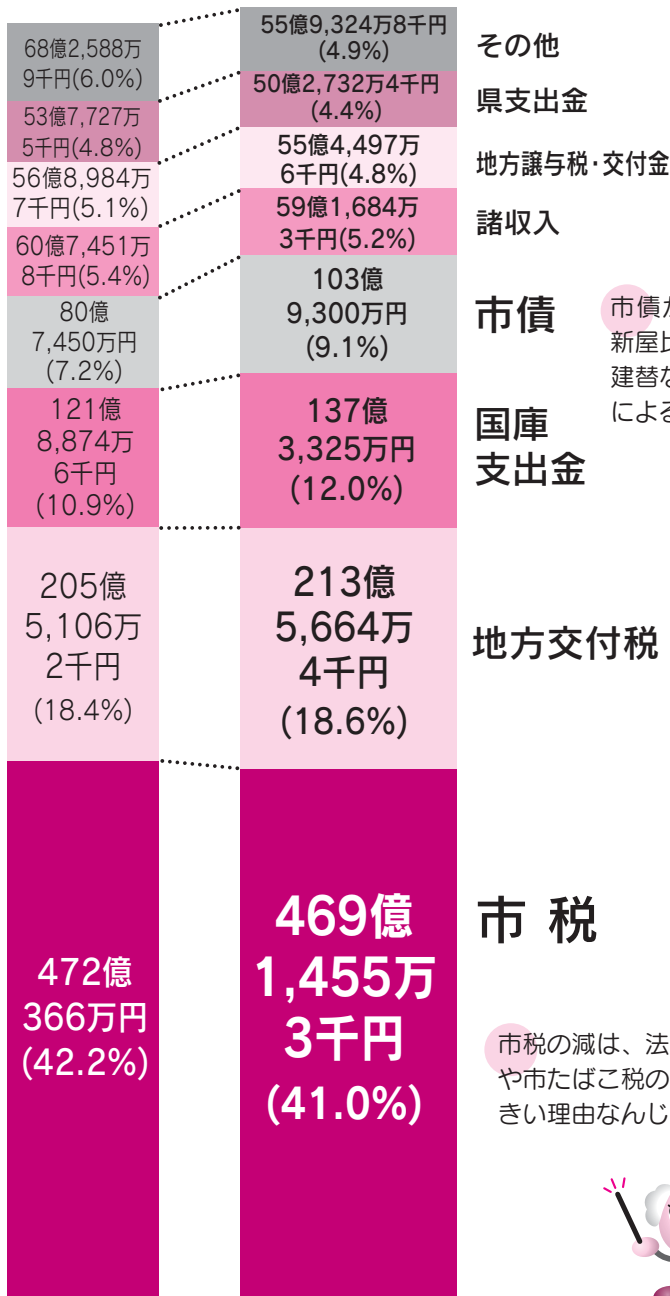
平成20年度は、歳入から歳出を差し引いた残り16億1424万円から、平成21年度に繰り越した事業の財源となった3億2218万7千円を除き、12億9205万3千円の黒字になりました。

歳入では、急激な景気後退の影響などから、市税が減りました。歳出では、後期高齢者医療制度が新設されたことなどにより、民生費が約9億円、西部市民サービスセンター整備事業などにより、総務費が約6億円増えています。

## 歳入

平成19年度  
1,119億  
8,549万7千円

平成20年度  
1,144億  
7,983万8千円



市債が増えたのは、新屋比内町市営住宅建替などの建設事業によるものじゃ。



市税の減は、法人市民税や市たばこ税の減少が大きい理由なんじゃよ。



秋田市の平成20年度一般会計・特別会計の決算が、昨年12月の市議会で認定されました。市の行政活動のためのお金が、どこから来て、どのように使われたのかお知らせします。



# 20年度決算



西部市民サービスセンターの子育て交流ひろば

- **民生費**：高齢者や身体・知的障害者の施設への補助、保育所への補助、生活保護、後期高齢者医療制度新設に伴う負担金など
- **土木費**：除排雪、都市計画道路、新屋比内町市営住宅の建設、公園整備、秋田杉を使った秋田駅西口バス乗り場の整備など
- **総務費**：選挙、戸籍事務電算化、西部市民サービスセンターの整備、町内会への助成など
- **教育費**：小・中学校の耐震補強工事、小学校への警備員配置、旭南児童館増改築、児童館などでの放課後児童の健全育成など
- **衛生費**：乳幼児や妊婦の健康診査や予防接種、各種検診、自殺予防対策、家庭ごみの収集など
- **その他**：中小企業への融資あっせん、求職中のかたへの就業支援、農業の担い手育成、消防、議会の運営など

平成20年度一般会計のおもな使いみち

次ページに特別会計・企業会計

## 性質別

平成19年度 1,104億 8,794万1千円  
平成20年度 1,128億 6,559万8千円

新しくできた後期高齢者医療事業会計への繰出金は5億円。老人保健医療事業会計へは昨年度の24億円から2億円に減ったんじやよ。



76億6,086万4千円(7.0%)	80億4,064万5千円(7.1%)	その他
80億8,290万2千円(7.3%)	108億4,077万2千円(9.6%)	投資的経費 施設や道路などを建設する経費
93億4,820万9千円(8.5%)	71億2,332万円(6.3%)	繰出金 特別会計への支出 介護保険事業へ約27億円、国民健康保険事業へ約18億円など
106億7,597万8千円(9.7%)	117億5,595万5千円(10.4%)	補助費等 負担金、補助金など
143億3,761万5千円(12.9%)	138億2,796万円(12.3%)	物件費・維持補修費 需用費、旅費、備品購入費など
162億8,045万3千円(14.7%)	165億1,757万3千円(14.6%)	公債費 市債の返済経費
197億6,521万4千円(17.9%)	202億1,375万6千円(17.9%)	扶助費 生活困窮者、身体障害者への生活維持費など
243億3,670万6千円(22.0%)	245億4,561万7千円(21.8%)	人件費 市職員の給与など

## 目的別

平成19年度 1,104億 8,794万1千円  
平成20年度 1,128億 6,559万8千円

## 歳出

120億2,726万8千円(10.9%)	120億5,356万1千円(10.7%)	その他 商工費約57億円、消防費約34億円など
83億2,025万6千円(7.5%)	81億5,602万7千円(7.2%)	衛生費
108億4,187万6千円(9.8%)	114億3,628万8千円(10.1%)	教育費
139億8,416万8千円(12.7%)	146億3,548万6千円(13.0%)	総務費 総務費が増えたのは西部市民サービスセンター整備などによるものじや。
162億8,045万3千円(14.7%)	165億1,757万3千円(14.6%)	公債費
179億4,118万6千円(16.3%)	180億4,236万9千円(16.0%)	土木費
310億9,273万4千円(28.1%)	320億2,429万4千円(28.4%)	民生費



# 特別会計

特別会計は、介護保険や国民健康保険など特定の事業を行う場合、その収入を支出に充てるため、一般会計と区別している会計のことです。



## 公営企業会計 (市立秋田総合病院)

市立病院は、医療に対する市民ニーズに応えるため、高度医療機器の整備と診療体制の充実に努めました。



収益的 収支	収入	91億 862万2千円
	支出	89億1,624万2千円
	差引	1億9,238万 円
累積欠損金		27億8,217万6千円
資本的 収支	収入	5億7,179万8千円
	支出	11億3,442万5千円
	差引	-5億6,262万7千円
	補てん財源	施設の償却費など 5億6,262万7千円

※資本的収支には消費税を含みます

企業決算では、営業面から見た収支を「収益的収支」、設備など所有財産の面からみた収支を「資本的収支」と表しています。公営企業の経営は、市民ニーズを満たしながら、収益的収支に大きな赤字が出ないような経営が望ましいといえます。

※水道事業と下水道事業の決算は、昨年の広報あきた12月4日号5ページに掲載しています。

会計別	歳入決算額 (A)	歳出決算額 (B)	差引額 (A)-(B)
土地区画整理会計	17億1,850万5千円	16億3,252万7千円	8,597万8千円
市有林会計	1億7,603万5千円	1億5,483万3千円	2,120万2千円
市営墓地会計	8,376万6千円	8,187万3千円	189万3千円
中央卸売市場会計	6億 430万9千円	5億7,516万1千円	2,914万8千円
農業集落排水会計	10億8,837万 円	10億6,028万3千円	2,808万7千円
大森山動物園会計	4億3,041万6千円	4億3,041万6千円	0千円
廃棄物発電会計	1億7,921万2千円	1億7,312万2千円	609万 円
国民健康保険事業会計	301億2,294万1千円	295億5,419万4千円	5億6,874万7千円
老人保健医療事業会計	33億 590万1千円	30億6,258万5千円	2億4,331万6千円
母子寡婦福祉資金貸付事業会計	1億3,693万4千円	4,346万3千円	9,347万1千円
介護保険事業会計	199億1,855万8千円	194億3,520万8千円	4億8,335万 円
後期高齢者医療事業会計	27億3,318万4千円	26億9,854万2千円	3,464万2千円
合 計	604億9,813万1千円	589億 220万7千円	15億9,592万4千円

特別会計の中から、次の3つを解説しよう。

**市有林会計**…市有林(約2,000畝)の管理、育成や売却など

**市営墓地会計**…平和公園墓地、南西墓地、河辺墓地の管理や改修工事など

**廃棄物発電会計**…廃棄物発電で生じた余剰電力を電気事業者に売却



## 市の財務資料はホームページで

問い合わせ 財政課 ☎(866)2052

市の予算や決算に関する資料は、市ホームページでご覧いただけます。また、市では、財政状況の透明性を一層向上させるため、次の①～④の財務諸表を作ることになりました。平成20年度決算にかかる各表は、3月に公表する予定です。http://www.city.akita.akita.jp/city/fn/mn/info.htm

- ①貸借対照表(バランスシート)…年度末における資産・財産とその調達財源の状況を示すものです
- ②行政コスト計算書…1年間の行政サービスに費やされた行政資源の額(コスト)を示すものです
- ③資金収支計算書…資金収支の状況を「経常行政活動」「公共投資」「その他の行政活動」という区分で示すものです
- ④純資産変動計算書…資産と負債の差額である「純資産」の1年間の変動内容を示すものです

## いろいろな指標で見る市の財政



市の財政をさまざまな指標で見てください。

財政の健全性を表す指標として、「健全化判断比率」「資金不足比率」があります。これらの比率が国の基準を超えた場合、財政健全化計画や財政再生計画などの策定が必要になります。秋田市の平成20年度決算分の各比率は、いずれも国の基準内で、財政の健全性が保たれています。

また、公債費比率や経常収支比率などは他都市の平均値より良いものの、全体的に見ると、決して良好な数値とはいええない状況にあります。

今後も、厳しい財政状況の中、市税などの財源確保に努めたり、市民サービスに直接影響がない経費を徹底して見直したりして、安定した財政運営をめざします。

## 財政状況を示す指標

### ●財政力指数 0.674

類似都市平均値 ※0.765

標準的な行政活動を維持するために必要な一般財源に対して、標準的な状態で徴収できる税収がどれだけあるかという指標。「1」を超えると財政的に余裕がある自治体といえます。

### ●公債費比率 14.8%

類似都市平均値 14.9%

歳入の一般財源(使い道が自由なお金)における公債費の割合。10%以下が望ましいとされています。

### ●経常収支比率 89.7%

類似都市平均値 91.4%

人件費、扶助費など毎年支出される経常的経費に、市税など毎年入る経常的一般財源がどの程度使われているかを示す数字。80%を超えると、財政が硬直化傾向にあるといえます。

※類似都市…平成20年4月1日現在における中核市で、平成17年度国勢調査人口が40万人未満の都市(19市)

## 健全化判断比率

### ●実質赤字比率 「一」(数値なし)

国が示す基準値 11.25%

一般会計等の赤字額が標準的な収入に対してどれくらいの割合かを示すもの。秋田市は実質赤字額がなかったため、数値はありません。

### ●連結実質赤字比率 「一」(数値なし)

国が示す基準値 16.25%

一般会計、特別会計、企業会計の赤字や黒字を合算した、市全体の赤字額が標準的な収入に対してどれくらいの割合かを示すもの。秋田市は実質赤字額がなかったため、数値はありません。

### ●実質公債費比率 15.0%

国が示す基準値 25%

一般会計等の実質的な借入金の返済額が標準的な収入に対して、どれくらいの割合かを示すもの。

### ●将来負担比率 134.9%

国が示す基準値 350%

一般会計等の借入金残高や将来支払っていく可能性がある負担額から、基金などを差し引いた、現時点での実質的な額が標準的な収入に対してどれくらいの割合かを示すもの。

## 資金不足比率 「一」(数値なし)

国が示す基準値 20%

公営企業会計などの資金不足額の、事業規模に対する割合を示すもの。秋田市では資金不足となる会計はありませんでした。

指標の対象となる会計…病院、水道、下水道、中央卸売市場、農業集落排水、大森山動物園、廃棄物発電

## 市債はどれくらい？

「市債」とは市の借入金のこと。将来にわたって返済していくので、道路や学校など永続的に役立つ施設の建設費を次世代にも平等に負担してもらおうことになります。

